

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成28年度)

2. 分野等別状況 (2)地域活性化総合特区 ②ライフ・イノベーション分野(2/12)

	評価区分(※)	総合評価 (IとIIとIIIを1:1:2の割合で計算)	I	II	III	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
			目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
先導的な地域医療の活性化(ライフ・イノベーション)総合特区(徳島県)	正	4.0	4.5 <u>進捗度</u> ・医師不足対策の推進 100% ・糖尿病対策の推進 114% ・外国人宿泊者数 116%	4.0 <u>規制の特例等</u> ・「総合メディカルゾーン本部」内を単一の病院とみなした制度・法令上の取扱い <u>財政支援等</u> ・寄附講座設置事業 ・医師修学資金貸与事業 等 <u>地域独自の取組</u> ・とくしま経済飛躍ファンドによる研究開発支援 等	3.8	<p>・個々の評価指標では、それなりの達成度を生み出してはいるが、リーディングプログラムが明確となっていないことが課題といえる。</p> <p>・医療の地域偏在・診療科偏在を解決し、地域医療の再生モデルの構築を目指す第1の目標は順調に進展している。寄付講座の設置によって、県内公立病院に救急・産科医療などの公益性の高い医療人材を教育的な指導に従事させていることは評価できる。このような制度が今後も永続的に持続できるような体制の将来像を示すことが望ましい。</p> <p>・糖尿病の克服という第2の目標については、糖尿病連携手帳を利用する医療機関が増加していることは評価できるが、これまでの調査で糖尿病患者が増加傾向にあることを踏まえ、糖尿病関連産業の創出、県民総ぐるみの「糖尿病克服モデル」の双方のさらなる強化が求められる。</p> <p>・糖尿病患者数以外の健康関連のアウトカムの調査が望まれる。</p>

※「正」とは平成28年3月末までに計画が認定された地区の評価、「準」とは平成28年3月末時点では計画が認定されていない地区の評価を意味する。